

# Zokei

128  
July 2010

東京造形大学広報  
Bulletin of  
Tokyo Zokei University

2010年（平成22年）7月10日発行  
192-0992

東京都八王子市宇津貫町1556

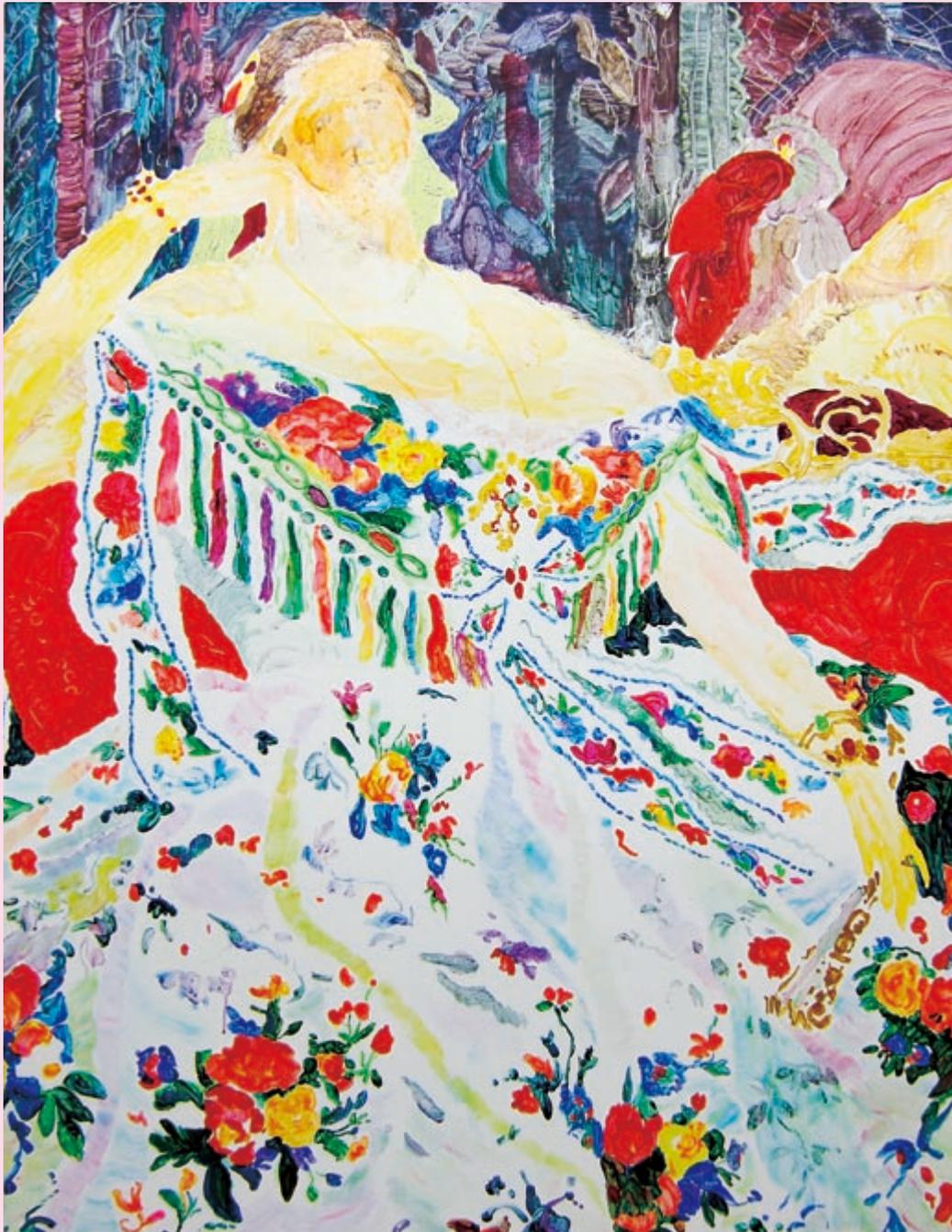
東京造形大学入学情報チーム

Tel. 042-637-8716

Fax. 042-637-8731

E-mail [nyugakujouhou@zokei.ac.jp](mailto:nyugakujouhou@zokei.ac.jp)

URL <http://www.zokei.ac.jp/>



『マダム（ドミニク・アングラによる）』 アクリル、パネルに綿布 145.5×112.0cm 2009年

想像と思考が膨張し、良い予感のようなものがしたとき、その対象はモチーフに決定されます。

そのような瞬間は何ヶ月も訪れないときもあり、モチーフとの出会いはちょっとした奇跡のようにも思われます。そして、白いキャンパスに向かい描こうとするときには、常に極上の緊張感を持ち、かつ幸福な状態でいなければなりません。

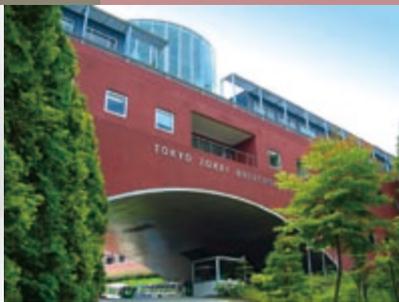
なぜならば、苦悩や焦燥、迷いのような感情は、決してわたくしの絵に良い影響を与えないからです。ですので、常に心身良好な状態にいることが、満足のいく絵画空間の成立には不可欠なのです。

大学院・美術研究領域2年 佐藤 理恵

# SO+ZO MOVEMENTの始動

今年は、専門学校桑沢デザイン研究所並びに東京造形大学の創立者である桑澤洋子先生の生誕100年にあたります。本年を契機として、桑澤先生を中心とする先人達によって開設された革新的デザイン教育・造形教育を掲げた両教育機関の教育成果を、さまざまな角度から検証し、両教育機関を運営する学校法人桑沢学園が、今後進むべき方向性を確認するとともに、両教育機関が単なる姉妹校に止まらず、両者の相乗効果を創出するための協同関係を構築することを目指した運動を行います。理事長の提唱から始まったこの運動の名称としては、桑沢デザイン研究所の桑（SO）と東京造形大学の造（ZO）の総和を意味する「SO+ZO MOVEMENT」としています。また、この運動のシンボルとなる別掲のロゴマークは、本学シンボルマークを作成した勝井三雄氏のデザインによるものです。

「SO+ZO MOVEMENT」は、本年度から3年間に亘り実施する予定ですが、その軸となるプロジェクトは3つです。その中核プロジェクトとなる「SO+ZO展」は、桑澤洋子のデザイン思想、教育理念を基に、その教育成果である両校の卒業生の活動や作品を客観的視野から評価し、展覧会として展覧に供するものです。この展覧会の内容は、さらに主要都市への巡回展として来年度以降予定されています。他のプロジェクトとして、「SO+ZO シンポジウム」と「SO+ZO ファミリー・カミングパーティー」を計画しており、現在決まっている3つのプロジェクトに関する具体的内容は以下のとおりです。



## SO+ZO展「未来をひらく造形の過去と現在 1960s→」

記念事業のプロジェクトのひとつである「SO+ZO展」では、世界をよく観察して新しくとらえ直す桑澤洋子の視点で、機能主義の原点にあった人間主義を取り戻すために、戦後日本のデザイン・造形の成果から二十一世紀の展望を試みます。

バウハウスなど、モダン・デザインの理念と活動に触発され、社会的、全人格的造形教育を目指し、専門学校桑沢デザイン研究所（1954）、東京造形大学（1966）を創設した桑澤洋子と、その共鳴者＝教師陣による教育の理念と実践は、これまでに幾多の優れた才能を社会へ送り出してきました。

本展覧会は、その輩出した才能の軌跡＝教育成果を辿ることで、桑沢学園の教育の理念と実践が日本のデザインや造形分野にどのような役割を果たしたのか、そして、今現在さらに未来に対してどのような意味を持ちうるのかを展覧するものです。

展示構成としては、映像、写真を交えた卒業生、出身者による実作作品、約五十点の展覧を四部構成とするプランとなっています。

会期 2010年11月12日（金）～11月28日（日）  
会場 Bunkamura ザ・ミュージアム（第一会場）  
東京都渋谷区道玄坂2-24-1  
桑沢デザイン研究所（第二会場）

## SO+ZOシンポジウム

教育機関である専門学校桑沢デザイン研究所と東京造形大学の新たな可能性を検証するために行う講演会です。両校の卒業生を交えて桑澤洋子の教育がもたらしたものについて検証し、また、ゲストを招へいして今日の芸術教育をめぐる問題提起を行う予定です。

## SO+ZOファミリー・カミングパーティー

共に桑沢学園を構成する、専門学校桑沢デザイン研究所と東京造形大学の両校の卒業生・関係者の親交を深め、さらに、これからの桑沢学園をサポートする試みです。



SO+ZOロゴマークデザイン：勝井三雄

写真・左上から：桑沢デザイン研究所（渋谷 / 1958年）、講義風景（撮影年不詳）、開学時の東京造形大学（移転前：八王子市元八王子町 / 1966年）、創立者 桑澤洋子（撮影年不詳）、現在の東京造形大学（八王子市宇津貫町）、現在の桑沢デザイン研究所

2010年7月5日(月)から7月30日(金)にかけて、「桑澤洋子生誕100周年記念事業」の付帯事業である「SIRAI,いま 白井晟一の造形」展が開催されています。本学美術館原案設計者である白井晟一氏をさまざまな角度から検証するほか、シンポジウムを開催いたします。

白井晟一氏の建築を中心に、書、装丁など広範にわたる造形世界を、未公開作品を含む作品で構成するとともに、白井の存在の意味を問い直す没後初めての試みとなります。

会 期：2010年7月5日(月)～7月30日(金)

開館時間：10：00～16：30

(金曜日：10：00～19：00)

入館は閉館30分前まで

会 場：東京造形大学附属横山記念マンスー美術館

休 館 日：日曜日(ただし7月18日は開館)

観 覧 料：無料

◆「シンポジウム：白井晟一が生きた時代 Part1」

日 時：2010年6月19日(土) 13：00～17：00

会 場：桑沢ビルP1ホール

◆「シンポジウム：白井晟一が生きた時代 Part2」

日 時：2010年7月17日(土) 15：00～17：00

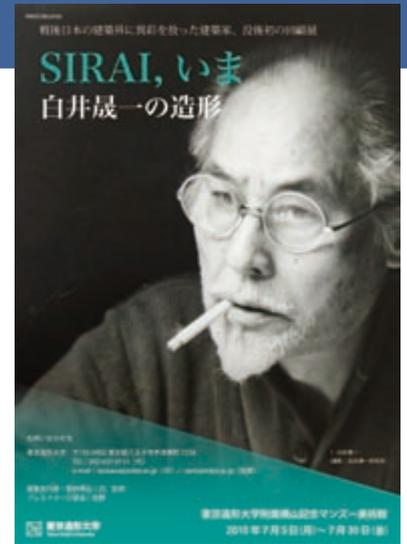
会 場：東京造形大学

※シンポジウムへの参加には、事前の申し込みが必要となります。

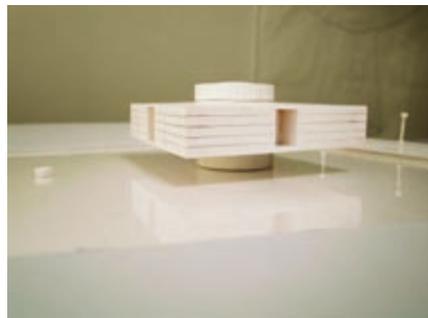
※本展に関する詳細情報、お問い合わせは本学HP内、以下に掲載しています。  
<http://www.zokei.ac.jp/museum/index.html>



「無明」



PRESS RELEASEより



原爆堂計画模型(制作：東京造形大学大学院)



中央論新書のためのデザイン  
1962年頃

大槻あかね × 末永史尚 × 瀬畑亮 × 宮崎勇次郎 × 和田ときわ

毎年新年度にあわせて開催される「造形現代芸術家展」は、表現者として活躍する卒業生を招き、大学附属美術館にて展示を行いました。今年度は表現技法も素材も異なる5名の作家が、異なる5つの世界を展開、秩序立っているようでいて混沌とした今日を示す内容となりました。

会 期：2010年4月6日(火)～4月24日(土)

同時開催：創立者 桑澤洋子作品展

創立者、桑澤洋子のデザインした衣服(オリジナルおよび再制作)を中心に展示を行いました。



「ROLLING SCULPTURE.20」 2006年セロテープ® 140×105×60cm

瀬畑 亮 1974東京都出身 2000美術学科美術専攻Ⅱ類(彫刻)卒業



「ひるね」2009年 リトグラフ 700×550mm

和田ときわ

1969 神奈川県出身  
 1993 美術学科美術専攻Ⅰ類(絵画)卒業  
 1995 同研究生修了  
 1997 高知県(いの町)に移り手漉き和紙の研修終了後、手漉き和紙製造と研究、和紙に刷る版画を制作  
 (2007アトリエを東京に移す)



末永史尚×スコット・オルソン「Painting Painting」2009年  
 ※写真左5点が末永史尚

末永史尚 1974山口県出身  
 1999 美術学科美術専攻Ⅰ類(絵画)卒業  
 2000 同研究生修了  
 2004-2005 文化庁新進芸術家国内研修員



「目を開いて見る夢」 2010年キャンバスにアクリル  
 227.3×181.8cm

宮崎勇次郎 1977大分県出身  
 2001 美術学科美術専攻Ⅰ類(絵画)卒業



「meets(はらば)」モビール(紙、バラン、ステンレス、テグス)

大槻あかね 1973横浜出身  
 1997 美術学科美術専攻Ⅰ類(絵画)卒業

## 卒業生 藤井浩一朗先生 上海万博に作品出展、 永久設置決定！

本学非常勤講師の藤井浩一朗先生（卒業生／美術学科彫刻）が上海万博に彫刻作品「父子情」を出展しています。今回の上海万博では、公園内に設置される全26体の彫刻作品のうち、中国政府から出展を要請された外国人作家5人の中の1人に選出されたものです。作品は「浦江城市—上海生命的紐帯」（川沿いの都市上海生命のつながり）をテーマとし、高さ2メートル、透明アクリルによるもので、河沿いの緑地に設置、上海万博後も展示（永久設置）されることが決定しました。



### 「上海万博彫刻の設置から」

上海万博の出展は文化庁在外研修（復旦大学上海視覚芸術学院で研修）がきっかけでした。プレゼンでは、現在シリーズ化している金属彫刻ではなくアクリルを素材に選びました。

大型アクリル作品の制作は未経験でしたが、異国での環境が挑戦する気持ちにさせたのかも知れません。制作はまず、彫刻の元になる原型を創り、型取り・流し込み・割り出し・磨きというプロセスを経ていきます。幾度も元の形から離れては新たに作り上げていく一連の触感作業は、彫刻制作の醍醐味です。今回、使用したアクリル材も磨き上げていくにつれて透明度が増し、やがて上海の風景は完全に彫刻内に溶け込んでいきました。設置が終わりやがて日夜の入れ替わる頃、今一度私は両手で作品のかたちを追いつつ、もうしばらく「彫刻すること」を感じていたいと思いました。

藤井浩一朗（講師／卒業生）

「父子情」2010年 高さ200cm  
（上段／撮影Zhang Ying）

## 卒業生 瀬畑 亮 × セロテープアート®

【ワークショップ開催報告】

第六回造形現代芸術家展の出展作家、瀬畑氏のワークショップが開催されました。参加した学生たちは「セロテープアート®」を実際に体験、その面白さに没頭し、卒業後、作家活動を続ける先輩の体験談や苦勞話を熱心に聞いていました。



### 「自己表現の『原石』を見つける事」

2010年4月6日から24日まで開催した「第六回造形現代芸術家展」会期中の4月20日にZOKEIギャラリーでワークショップイベントを開催させて頂きました。

今回のワークショップで私が学生の皆さんに伝えたかった事は、学生時代に「自分のオリジナルの表現方法の原石を見つける事」で、これは今後皆さんが大学を卒業し、社会に出てから芸術家（デザイナーも含む）として生きていく上で、最も必要とされる必須条件となるからです。

勿論在学中に完璧なオリジナリティーや、自分の表現したい事を100%表現出来るようになるのは無理な事ですが、社会から「芸術家」として認められるにはまず説得力のある「表現力」が必要で、それは一言で言うと「術（技）」であると言えるでしょう。単なる思い付きやひらめきの発想の面白さだけでは決して社会から「芸術（家）」として認められる事はないので、しっかりと在学中に先生方から基礎を学び、自分の表現の「原石」を見つけ出し、誰にも真似の出来ない自分だけのオリジナリティーを見つけ出して欲しいと思います。

瀬畑 亮（セロテープアート® 作家／卒業生）



上／下 共にワークショップの様子

瀬畑さんのワークショップを通して、私は現代美術の可能性が見えました。小さい頃から触れてきたセロテープであのような表現方法もあるのかと視野が広がったのです。

瀬畑さんと会話をしながら制作を行い、芸術表現を身体で感じながら楽しめました。セロテープを引っ張るときの音が未だに忘れられません。

素材の可能性を最大限に感じる事が出来ました。今回の経験を通して、自分の視野が広がり表現活動にも生かせるような気がします。

長葎 真利子（絵画／4年）

# Teacher's Life

客員教授

## ホンマタカシ先生



今年度から本学の客員教授に就任、大学院の授業を担当する、写真家のホンマタカシ先生。どのような授業を思い描いているのかをうかがいました。

### プロジェクト科目

#### 「今の時代のニュードキュメンタリー」

今年度は大学院プロジェクト科目において、「今の時代のニュードキュメンタリー」を諏訪学長と名誉教授の柳本尚規先生と担当しています。様々な領域を専攻する学生が参加していて、皆で、今の時代にドキュメンタリーがどのような可能性を持つかを探っていきます。

プロジェクトでの最終的な目標として、こういう事もドキュメンタリーではないかという事を具体的に提案してもらったり、自分達で映像を作る、あるいは自分の領域に引きつけた作品を制作する。そして社会と結びつけたり、自分の小さい世界から、もう一回り大きくした中で発表してもらおう。学生の皆さんと僕らも一緒になって作り上げていく、一方的に上から教えるというのではなく、一緒に考えて作っていけるというのは、大学院ならではの面白さかなと思っています。

### 金沢21世紀美術館での個展

来年の1月に金沢21世紀美術館で個展を行います。ここでは、自分のこれまでの作品を展示するのではなく、あえて、ここ3、4年のプロジェクトや仕事だけで展示をやるとう

と思っています。まだ正式タイトルはありませんが、プロジェクト科目と同じテーマである「ニュードキュメンタリー」と考えていて、僕なりの写真におけるニュードキュメンタリーの提案をする予定です。レトロスペクティブだと思っている人たちにとっては、ちょっと裏切られたというような感じになるかもしれませんね。

### 新作を発表します

一つには知床の鹿狩りの後の痕跡だけで、それをイメージさせる作品があったり、それ自体が抽象絵画的な表現の作品であったり、あとは完全に新作になりますが、写真家の目からのシルクスクリーン作品も発表しようと思っています。これは、世界中のマクドナルドの建築を撮影したシリーズで、世界均一、グローバルゼーションの代表のようなイメージを持つマクドナルドですが、でもやっぱり、個々の国に行ってみると、同じなんだけれど差異がある。それが面白いと思っていて、世界中で撮っているそれをシルクスクリーンの作品として発表する予定です。

### シャッターを押す瞬間

僕の著書「たのしい写真」にもありますが、基本的にカメラマンはい



「Highway 1」2005年

い瞬間を撮る、それがいいカメラマンだと思われるかと思うんですけど、僕はそれをちょっと違うんじゃないかな、と逆に思っていて、どんな瞬間の顔も全部その人、と思うんですね。シャッターチャンス、決定的瞬間はないという立場。僕は一枚でいい、と思っていて、一枚撮ったその写真でも、十分その人を表わせると思うんです。だからたくさん撮って、その中からいいのを探するというやり方っていうのは、いい加減やめませんかというの、僕の立場なんです。

ファインダーに関しても、僕はなるべく、のぞかない方が好きなんです。のぞいたままに写真ができてくる、僕らにとってはそれが当たり前だから、それじゃつまらないんですよね。だから、撮って上がってきて、意外なもの、自分の想定外のものがあがっていることが嬉しい、のぞいたらそうなっちゃうから、のぞくけどぼんやり、そこが結構難しく。カメラに任せるっていう方が、面白いかなと思うんです。



『たのしい写真 よい子のための写真教室』  
2009年発行

### more

◆2011年1月に開催される、ホンマ先生の展覧会の詳細は以下のページでチェック!

会期: 2011年1月8日~3月21日  
会場: 金沢21世紀美術館  
石川県金沢市広坂1丁目2-1  
<http://www.kanazawa21.jp/>

◆大学院プロジェクト科目「今の時代のニュードキュメンタリー」では毎週火曜日16:40より授業の様態をUSTREAMにて中継しています。

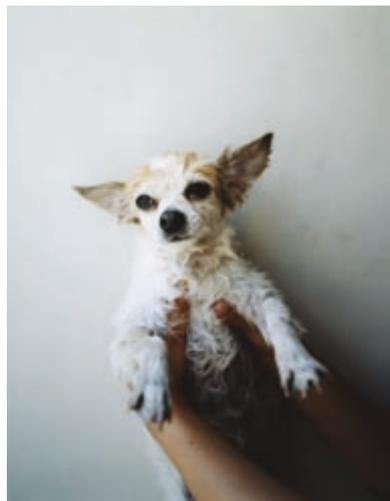
授業公開の試みとして、学外視聴者からのリアルタイムでのTwitterによる投稿も受け付けています。興味のある方はぜひご覧ください。  
<http://www.ustream.tv/channel/nobuhirusosawa/v3>

学生のディスカッションの場としてブログも開設しています。学外の方からのコメントも投稿可能ですのでご参加ください。

NEWDOCUMENTARY ブログ  
<http://newdocumentary-zokei.blogspot.com/>



「Boy 1, Keio Tama Center」1998年



「My dog, Royce1」2005年

2010年2月23日(金)、相模原市立共和小学校において、川嶋しのぶさん(当時:グラフィックデザイン4年)および小柳万莉さん(当時:インダストリアルデザイン4年)が、「総合的な学習の時間」で実施された、「見つめよう私たちの未来」~将来の自分を見つめて~ 夢実現プロジェクトに参加しました。「デザイン」に興味・関心を持つ18名の小学6年生に、大学で学んでいることや「デザイン」の役割などを話し、その後「名刺作り」のワークショップを行いました。



上/下 共にワークショップの様子

何色もある紙の中から自分の好きな色を選び、○△□の単純な形を使って構成していききました。顔に見立てていたり、リズムが感じられるような構成であったり、どの子も楽しそうに作っていて、その作品もそれぞれ個性的でとても素敵でした。私と小柳さんが作ったサンプルも見せて、「同じ名刺づくりでも、選ぶ色や形の違い、使い方で全然印象が違う物になるんだよ」という話をすると、「ほんとだ!」と驚いていました。今回のこの活動を通して、子供たちにもっと色や形、そしてデザインについて興味を持ってもらえたら嬉しいです。 川嶋しのぶ

川嶋さんと考えた授業テーマは「デザインはカッコいいだけじゃない」です。表面的な格好良さではない、4年間私たちが勉強した中で感じたデザインの社会的な意味などを説明しました。小学生にとっては少し難しいテーマだったかと思いましたが、子ども達は純粋な興味の眼差しを向け、私たちの生の考えを真剣に聞き、頷き、積極的に質問をしていました。その姿が私の想像する現代の小学生と異なり、とても驚きました。また、授業後にある女の子が「デザイナーになりたい」と言ってくれた時は本当に嬉しく、将来素敵なデザイナーになる事を予感しました。 小柳万莉

※この授業は、昨年に続き2回目の実施となり、今回のテーマ「将来の自分、生き方、夢」について考えるということを中心に、様々な職業の方が講師として招かれ実施されました。

## 地域連携

# 「見つめよう私たちの未来」

## Report

### 短期交換留学

# サウサンプトン大学 ウィンチェスター美術学校

本学の国際交流提携校に派遣留学生として旅立った、村木淳之介さん(グラフィックデザイン4年)のレポートを紹介します。

派遣期間: 2010年1月27日~2010年4月5日

派遣留学先: サウサンプトン大学 ウィンチェスター美術学校 (イギリス)



様々な国から集まった学生達の中でグラフィックデザインを学べた事を嬉しく思う。日本で当たり前だと考えていた事も当たり前でない事が多い。言葉にしても習慣にしても。そういった環境の中で、作品を作る上で思った事はコミュニケーション能力の必要性だ。毎週2回行われるディスカッション形式の授業では、自分の作品についての考えと他の学生の作品に対する考えを明確にしなければならない。コミュニケーションにおいて最も重要な要素である言語が欠乏していた私は顔の表情、手足の動き、スケッチ、写真など様々な方法を用いてコミュニケーションを試みた。自分の意志を相手に誠意を持って伝えようとするれば、相手もそれに誠意を持って応えてくれた。人に自分の意見を伝える難しさや方法を学べた事は貴重な体験であった。私にとって最も刺激的で感謝と優しさに溢れた2ヶ月半となった。 村木淳之介

2月1日  
初登校。授業ガイダンス後、教授と今後のスケジュール確認。期待と不安が募る、眠れない夜となった。

2月6日  
留学生の親睦会。日本好きな西洋人が多いことに驚く。宮崎駿と黒澤明は偉大でした。みんな楽しみ方を知っていて、それにつられて陽気になる。

2月19日  
課題講評。自分の作品を中心に様々な学生が意見を発言してくれた作品を作り上げた達成感を感じた。

3月6日  
スパニッシュパーティー。スペイン人達が料理をごちそうしてくれた。ギターの生演奏も。イギリスの環境に慣れてきて、自然に楽しい時間を過ごせた。

3月19日  
最終授業。清々しい青空のもと、担当教授とお別れのキス。夜にクラスと食事をして、充実した授業期間を終える。



提出課題/雑誌

Q. 住まいはどのように探しましたか? — A. 学校が所有している寮を紹介して貰いました。トイレ風呂付きか、部屋の大きさなど約20項目の質問に回答するとそれに当てはまる部屋を探してくれました

Q. 現地で困ったことは? — A. 靴のまま部屋に入るので床がいつも泥だらけだった事。

Q. 出発前にこれだけはやっておいた方がいいことは? — A. 教授や学生にすぐ見せられるA4のポートフォリオを用意する事。自分の作品の方向性を示す事ができ、作品を通じて皆とコミュニケーションを取る事ができます。

※2010年度 派遣留学生の募集詳細は、大学HPもしくは掲示板で発表いたします。

# Info.

## ●大学情報のお知らせ

前期試験、補講、資格課程、教室使用期間、および夏期休業中(7/26～9/4)の大学情報は、構内掲示板の他、本学ホームページ『Campus Net』で随時お知らせいたします。  
《夏期休業中・事務取り扱い》

事務取扱時間 9:10～15:50

なお、土・日および学内一斉休業期間(8/7～22)は取り扱いません。

証明書自動発行機の利用時間も同様です。

《夏期休業中・図書館閉館日程》

開館日 7/26～8/6、9/1～9/3

開館時間 9:15～17:00

## ●食堂からのお知らせ

現在建設中の新棟への移転に伴い、現在の食堂は7/31をもちまして終了します。新食堂は、9/6より営業開始のため、8/1～9/5は食堂の営業はありませんので、昼食は各自用意して下さい。

## ●大学院研究成果中間発表展日程

《院1年》

10/21(木)・22(金): 口頭発表期間  
(学内展示含む)

10/23(土)・24(日): 公開展示期間

《院2年》

7/16(金)～23(金): 口頭発表期間  
(学内公開展示含む)

## ●オープンキャンパス日程

7/16(金)・17(土)・18(日) 10:00～16:30

上記期間にオープンキャンパスを開催しま

す。体験授業、作品展示・上映、公開授業等のプログラムが予定され、多くの来場者が見込まれます。また学生有志チームによる、今年度のビジュアルテーマは「ZOKEI HOLE」。学内を彩るグラフィックイメージにも大注目です。



## ●進学相談会

7月は静岡、名古屋、大阪、長野の4会場、8月は広島、福岡、札幌の3会場での開催となります。開催時間、内容、及び9月以降の進学相談会日程は、本学ホームページに掲載しております。

<http://www.zokei.ac.jp/admission/counsel/html>

## 人事異動

●着任 客員教授 ペドロ・コスタ

ホンマタカシ

名誉教授 鍵谷明子

柳本尚規

特任教授 清家弘幸

## ●新任職員

教務運営グループ教務運営チーム

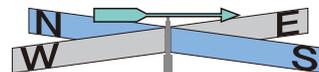
池田裕子

(2010年4月1日付)

学園事務局総務グループ総務・管財チーム

調 ゆい

(2010年5月1日付)



## ●諏訪学長 2010年度フランス広報大使就任

諏訪敦彦学長が2010年度フランス広報大使に任命されました。就任式の様子は東京造形大学動画サイト eizokei (<http://www.zokei.ac.jp/eizokei/?p=229>) よりご覧いただけます。



## 展覧会・講演会情報

### ●春日明夫/春日ゼミナール

第10回記念「キッズサイズデザイン展」

会期: 2010年8月26日～9月1日

会場: リベストギャラリー創

### ●松尾多英/「砂の会」展

会期: 2010年8月13日～8月15日

会場: 八王子市学園都市センターギャラリー

### 松尾多英 展「砂」

会期: 2010年12月12日～12月18日

会場: 美術家会館・青羅ギャラリー

### ●中里和人/「中里和人写真展 1983-2009」

会期: 2010年8月28日～10月11日

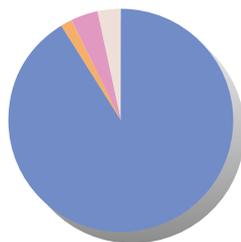
会場: 市川市芳澤ガーデンギャラリー

【本学 HP 内イベント情報において、個展・展覧会情報を随時掲載しております】

## 2009年度 決算報告

下表は、学校法人桑沢学園の2009年度決算報告書のうち、東京造形大学の関連部分を抜粋したものです。

〈資金収入構成比〉



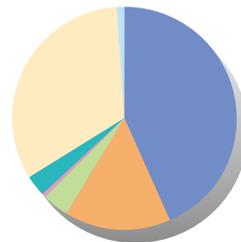
■ 学納金収入 ■ 補助金収入  
■ 手数料収入 ■ 事業収入  
■ 寄付金収入 ■ 雑収入

資金収支内訳表

(単位: 千円)

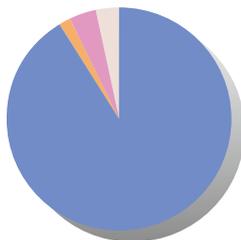
[収入]		[支出]	
科目	金額	科目	金額
学納金収入	3,755,416	人件費支出	1,704,983
手数料収入	72,839	教育研究経費支出	596,962
寄付金収入	1,650	管理経費支出	147,935
補助金収入	157,536	借入金等利息支出	18,781
事業収入	3,214	借入金等返済支出	121,940
雑収入	129,149	施設関係支出	1,283,466
		設備関係支出	44,594
計	4,119,804	計	3,918,661

〈資金支出構成比〉



■ 人件費支出 ■ 借入金等返済支出  
■ 教育研究経費支出 ■ 施設関係支出  
■ 管理経費支出 ■ 設備関係支出  
■ 借入金等利息支出

〈消費収入構成比〉



■ 学納金 ■ 補助金  
■ 手数料 ■ 事業収入  
■ 寄付金 ■ 雑収入

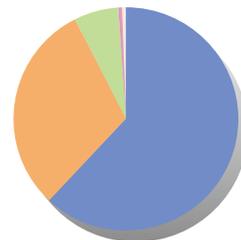
消費収支内訳表

(単位: 千円)

[収入]		[支出]	
科目	金額	科目	金額
学納金	3,760,507	人件費	1,675,115
手数料	72,839	教育研究経費	829,221
寄付金	1,658	管理経費	169,649
補助金	157,536	借入金等利息	18,781
事業収入	3,214	資産処分差額	1,475
雑収入	129,349	徴収不能額	5,091
帰属収入合計	4,125,103		
基本金組入額合計	△ 652,494		
消費収入の部合計	3,472,609	消費支出の部合計	2,699,332

\*減価償却額を含む

〈消費支出構成比〉



■ 人件費 ■ 借入金等利息  
■ 教育研究経費 ■ 資産処分差額  
■ 管理経費 ■ 徴収不能額

# 新棟「CS PLAZA」、まもなく完成

内部の様子



今年の秋、地上3階・地下1階の新校舎「CS PLAZA」がいよいよ完成します。

昨年からの建設が始まり、建設中では見ることができなかったその外観も、ようやく私たちの前に姿を現してくれました。

9月には足を踏み入れることのできる「CS PLAZA」、まだ見ることのできない内部の様子を一足早くお伝えいたします。



建設中の「CS PLAZA」2010年6月2日現在

設計は箱根のポーラ美術館を手がけた安田アトリエの安田幸一氏。

らせん状に渦を巻き、中央は吹き抜けの開放感あふれるつくりになっています。

建物は、絵画アトリエや食堂、売店、部室が設置され、学生のみならず制作活動に打ち込めるように設備が整えられるだけでなく、学生生活をよりのびのびと送れるように配慮されています。

また、環境にやさしいエコ施設を目指し、屋上には太陽光発電や、屋上緑化、中水利用（トイレ）のほか、食堂にはLED照明、床・テーブル・イス（座面）には竹の間伐材を利用し、自然との調和もはかられます。

※夏休み中は内部工事を行っていますので、「CS PLAZA」に入ることはできません。

## 【新棟建設による引越しについて】

- ・10号館絵画棟にある私物は、7月30日（金）までに持ち帰るようにしてください。
- ・10号館絵画棟のロッカー移動を8月に行います。8月6日（金）までに各自ロッカーを空にしてください。
- ・部室は一部を除いて後期に引越し予定です。

## 美術館へ行こう!

## 夏休みは学生証を使って! お得に鑑賞

学外の美術館・博物館では、学生証（または教職員証）を提示する事で、無料・割引等のサービスを受けることができる施設があります。この夏休みを利用して、ぜひ、足を運んでみてください。対象施設は以下のとおりです。

本学は『国立美術館キャンパスメンバーズ』（学生、教職員対象）、『東京国立博物館キャンパスメンバーズ』（学生、一部教員対象）、『東京都歴史文化財団 パートナーシップ』（学生対象）、『国立科学博物館大学パートナーシップ』（学生対象）に入会しています。対象施設に入館する際には、それぞれの制度から提供されるサービスを受けることが可能です。以下にその一部をご紹介します。（詳細はWEBサイトでご確認ください。）

### 【東京都歴史文化財団 パートナーシップ】

<http://www.rekibun.or.jp/>

- 1) 窓口で「パートナーシップ会員校」の学生であることを申し出て、『学生証』を提示すると…  
【常設展・企画展（一部）等、5施設】入館無料、  
《利用可能施設》
  - 江戸東京博物館／常設展
  - 江戸東京たてもの園／常設展・企画展
  - 東京都現代美術館／常設展
  - 東京都写真美術館／収蔵・映像展
  - 東京都庭園美術館／庭園
- 2) コンサートや演劇等のリハーサルやゲネプロに招待／割引
  - 東京文化会館 ●東京芸術劇場
- 3) 常設展ガイドツアーの開催

### 【国立美術館キャンパスメンバーズ】

<http://www.artmuseums.go.jp/index.html>

『学生証』（または教職員証）を提示すると…

【所蔵作品展】無料（国立新美術館を除く）

【特別展・共催展】割引（料金は展覧会によって異なります）

《利用可能施設》

- 東京国立近代美術館（フィルムセンターも含む）
- 京都国立近代美術館 ●国立西洋美術館 ●国立国際美術館
- 国立新美術館

### 【東京国立博物館キャンパスメンバーズ】

<http://www.tnm.go.jp/>

窓口で『キャンパスメンバーズ』会員の学生（教員）であることを申し出て、『学生証』（または教職員証）を提示すると…

【平常展】無料観覧

【特別展／イベント】割引（学生のみ対象）

《利用可能施設》

- 東京国立博物館

### 【国立科学博物館 大学パートナーシップ】

<http://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/index.html>

窓口で『学生証』を提示すると…

【常設展】無料

【特別展】600円引き（一部割引除外あり）

《利用可能施設》

- 国立科学博物館 ●附属自然教育園 ●筑波実験植物園

